

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語 I	コミュニケーション英語 I	1	A・B・C・D・E・F	3	必修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	金子栄、松本麻子、渡邊ひかり
授業形態	講義、演習等
教科書	Promionence English Communication I (東京書籍)
使用教材等	Promionence English Communication I CD Promionence English Communication I WORKBOOK Standard 英単語ターゲット1200 (旺文社) 英単語ターゲット1400 4訂版 (旺文社)

科目の目標・内容等

学習目標	英語の学習習慣(予習→授業→復習)をしっかりと身に着け、英語の総合的な基礎学力を養う。
学習における 留意点	教科書の内容を理解するとともに、各レッスンのテーマの背景知識を身に着けさせる。家庭でCDを聞いて音読することを習慣づける。
予習・復習	生徒に配布済の英語の年間授業計画をもとに学習計画を立てられるようにする。予習として各レッスンの単語、熟語を調べ日本語訳をする。復習として、CDを聞いての音読。
評価方法	定期考査・発表・平常点(小テスト・提出物等)・課題テスト 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 1 We Are Together Lesson 2 Animnal Emotions Lesson 3 One Ocean, One People Lesson 4 Landfill Harmonic	・短い英文を正確に読み取る能力を身に着ける。 ・内容を把握して、英語の質問に英語で答えられるようにする。 ・音読練習を習慣づけ、ディクテーションテストを各考査で行って、成果を見る。 ・単語帳の1冊目の約半分を終わらせ、夏休みに復習できるようにする。	1学期中間考査、期末考査のほか、授業内の教科書各レッスンの単語テストやターゲットの単語テスト、提出物、授業態度も考慮して、総合的に評価を行う。 外国人講師との授業における、積極性、英語での発表内容も評価に含める。
2	Lesson 5 Katsushika Hokusai, a Japanese Genius Lesson 6 A Strange but True Superhero Lesson 7 What's an Ig? Lesson 8 The State-of-the-Art Origami Engineering	・長めの英文を正確に読み取る能力を身に着ける。 ・内容を把握して、英語の質問に英語で答えられるようにする。本文の内容をある程度簡単な英語で言えるようにする。 ・音読練習を習慣づけ、ディクテーションテストを各考査で行って、成果を見る。 ・単語帳1冊目の残りの半分を学習し、確実にできる単語を増やしていく。	1学期中間考査、期末考査のほか、授業内の教科書各レッスンの単語テストやターゲットの単語テスト、課題テスト、提出物、授業態度も考慮して、総合的に評価を行う。 外国人講師との授業における、積極性、英語での発表内容も評価に含める。
3	Lesson 9 Father of the Paralympic games Lesson 10 Save Washington Square Park	・長めで難易度も少し上がった英文を正確に読み取る能力を身に着ける。 ・内容を把握して、英語の質問に英語で答えられるようにする。本文の内容をある程度簡単な英語で言えるようにする。 ・音読練習を習慣づけ、ディクテーションテストを各考査で行って、成果を見る。 ・単語帳の2冊目に入り、確実にできる単語を増やしていく。	学年末であるため、学年末考査の他に、1, 2学期の定期考査および年間の単語テスト、小テスト、課題テスト、提出物、授業態度なども考慮して、総合的に評価する。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進捗が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現I	英語表現I	1	全クラス	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	遠藤浩司、渡邊ひかり、松本麻子
授業形態	講義
教科書	be English Expression I standard (いいずな書店)
使用教材等	同教科書準拠ワークブック

科目の目標・内容等

学習目標	言語理解を深め、コミュニケーション能力及び態度を養う。
学習における 留意点	教科担当指示に従い計画的に学習すると共に、より表現力を深めようと努力すること。
予習・復習	ワークブック、ライティング課題、小テストの勉強、参考書を読む、等怠りなくやること。
評価方法	定期考査、小テスト、課題等を総合的に見て評価する

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson1～Lesson9	時制、助動詞、受動態、動詞のあとに2つの要素をつなげる の文法、語法ルールを身につける。旅行、休暇、学習などの話題について1パラグラフ程度の文を書いたり話したりする。	定期考査、小テスト、宿題、ライティング課題、授業中の積極的な発言等を総合的に評価する。
2	Lesson10～Lesson17	不定詞、動名詞、分詞、関係代名詞の文法、語法ルールを身につける。将来、健康、趣味、通信などの話題について1パラグラフ程度の文を書いたり話したりする。	定期考査、小テスト、宿題、ライティング課題、授業中の積極的な発言等を総合的に評価する。
3	Lesson18～Lesson17	関係詞、比較の文法、語法ルールを身につける。発明、社会問題、社会問題などの話題について、2～3パラグラフ程度の文を書いたり、自分の意見をまとめて話せるようにする。	定期考査、小テスト、宿題、ライティング課題、授業中の積極的な発言等を総合的に評価する。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	2	全クラス	4	必修	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	渡邊敬彰・金子栄・仰木沙奈子
授業形態	講義・演習等
教科書	UNICORN English Communication2 New Edition
使用教材等	UNICORN English Communication2 New Editionワークブック スタンダード

科目の目標・内容等

学習目標	教科書の内容を理解し、英語を読んだり、聴いたりする能力を伸ばす。また、自分の考えや伝えたいことを話す能力を身につける。
学習における留意点	教科書を読み、英語の文章を体系的に捉え理解する力を養う。また、他文化や様々な分野についての知識を深める。予習をして授業に臨み、授業中は集中し、積極的に授業に参加する。
予習・復習	予習では配られた教科書本文のCDを聴き、予習プリントに取り組む。また、CDを活用し本文の音読練習や新出単語の練習などで復習する。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・提出物等)・課題テスト 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson1 Accessibility for Everyone Lesson2 The Problem We All Live With Lesson3 Eat the "Ugly" Carrot, Save the World Lesson4 Through the Eyes of Imagination	文章全体の流れや構造を体系的に捉える力を養う。また、パラグラフに着目して構造から大事な内容を読み取る力を養う。教科書本文や新出単語、単語帳の音読を通して正しい英語の発音、リズムやアクセントを身に付けさせる。英文を読み解くために必要な文法の理解と語順感覚を養う。英問英答にオーラルで答えられるようにさせる。	一学期中間考査、期末考査と課題テスト、平常点、授業態度も考慮して、総合的に評価する。 平常点の内訳は、春休みの課題、ノート点、単語帳単語テスト、教科書新出単語の単語テスト、週末課題、授業への取り組みである。
2	Lesson5 More Than a Baseball Team Lesson6 What Is Uniquely Human? Lesson7 The Power of Choosing Lesson8 The Sagrada Familia and the 3-D Printer	1学期に身に付けたことに加え、長い文章や複雑な構造の文章も内容が取れるよう粘り強く取り組ませる。人種問題や環境・芸術・科学など幅広い分野に関心を持ち、知識を深める。各パラグラフの要約を日本語でできるようにさせる。	二学期中間考査、期末考査と課題テスト、平常点、授業態度も考慮して、総合的に評価する。 平常点の内訳は、春休みの課題、ノート点、単語帳単語テスト、教科書新出単語の単語テスト、週末課題、授業への取り組みである。
3	Lesson9 The Future of AI Lesson10 Just Enough	長めの文章を読み解く力を身に付けるとともに、自分の言葉で英語を話したり、自分の意見を英語で発信できるように取り組む。また、教科書の内容を英語でまとめさせる。	三学期の評価は学年末考査、課題テスト、平常点、授業態度も考慮して、総合的に評価する。 平常点の内訳は、春休みの課題、ノート点、単語帳単語テスト、教科書新出単語の単語テスト、週末課題、授業への取り組みである。 また、学年末であるため年間の評価を一学期からの累計で総合的に評価する。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進捗が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語Ⅲ	コミュニケーション英語Ⅲ	3	A・B・C・D・E・F	3	学校必修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	遠藤 浩司、平松 るみ子、渡邊 ひかり
授業形態	ホームルーム単位の講義・演習
教科書	PROMINENCE Communication English Ⅲ(2東書 コⅢ327)
使用教材等	・センターリスニング分野別10min.三訂版(エミル出版) ・センター英語 読解トレーニング改訂版10min.×20回(エミル出版) ・最新入試英語長文20選 SKYWARD LAND Course(桐原書店)

科目の目標・内容等

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
学習における留意点	進学後の学習や研究、その他さまざまな生活の場面で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を生かせるよう学習を進める。
予習・復習	必須。ただし、一部教材(センターリスニング分野別10min.三訂版およびセンター英語 読解トレーニング改訂版10min.×20回の実践問題)を除く。
評価方法	定期考査、小テスト、提出課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 2 Leaving Microsoft to Change the World 人の生き方・人生の進路の選択 Lesson 3 A One-million Dollar Lottery Ticket 訴訟を審理する裁判と裁判制度 Lesson 4 Recycling Hotel Soap to Save Lives 公衆衛生面の世界の地域間格差の現状 Lesson 5 Question Authority! アメリカの子供たちが、権威を疑う理由 Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion	Lesson 2:人の生き方・人生の進路の選択に関心を持ち、自分の進路について考察する。 Lesson 3:訴訟を審理する裁判と裁判制度に関心を持ち、訴訟の内容と当事者たちの主張について考察する。 Lesson 4:公衆衛生の世界の地域間格差、資源の再利用について考察する。 Lesson 5:権威に対するアメリカの子供たちの考えと日本人の態度や対応の違いについて考察する。 Lesson 6:ファーストファッションの背景にある生産国の人権侵害と環境問題について考える。	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 ②外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えようとしている。
2	Lesson 7 What Is College For? 大学の存在意義 Lesson 9 Science of Love 恋愛感情の論理的分析 Lesson 11 The Robots Are Coming - Aren't They? 人型ロボットの可能性やコンピュータの現在 Lesson 13 Technology as Trash 電気電子機器の廃棄問題とその改善方法 Lesson 14 The Flight from Conversation インターネット通信と人が直接対話することの違いと会話の重要性	Lesson 7:大学の存在意義と大学教育の望ましい姿について考える。 Lesson 9:恋愛感情を論理的に分析し、恋愛感情に係る脳の働きについて理解を深める。 Lesson 11:人型ロボットとコンピュータについての技術面と経済面の可能性と問題点について考察する。 Lesson 13:電気電子機器の廃棄にまつわる先進国と発展途上国の環境問題やリサイクル問題について考察する。 Lesson 14:インターネットが人のコミュニケーション活動に与える影響について考察する。	③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ④言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
3	Lesson 15 Bring New Light on Traditional Assumptions 独創的な発想を用いて難問を解決することの意味	Lesson 15:独創的な発想を生み出すことの重要性と難題に積極的に挑む姿勢の重要性について考察する。	

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	3	3年A, B, C, D, E, F組	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	平松るみ子、仰木沙奈子、渡邊敬彰
授業形態	講義・演習
教科書	DUALSCOPE English Expression Ⅱ (数研出版)
使用教材等	1学期 Vision Quest English Grammar 47(啓林館)、Vision Quest 総合英語(啓林館)、UPGRADE 英文法・語法問題(数研出版) 2学期 Grammar Collection Full Version 英文法・語法問題集(いづな書店)、Navigator文法編準拠ドリル(いづな書店)、UPGRADE 英文法・語法問題(数研出版)、CLOVER 英文法・語法 ランダム演習(数研出版)

科目の目標・内容等

学習目標	英文法・語法の知識を応用し、英語で伝えたいことを表現でき、大学入試問題が解ける。
学習における留意点	必ずノートに予習をし、授業で確かめて、間違った問題をやり直し、小テストで再確認する。
予習・復習	副教材等を用いて詳しく予習することが大切、授業と小テストで復習し、確実に理解する。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト、提出物、授業態度等)

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	不定詞、動名詞、不定詞VS動名詞、時制、助動詞、仮定法、態8分詞、多義語、文をつなぐ語句、重要語いの整理、重要熟語の整理、比較、主語と動詞の呼応、数量表現、接続詞、疑問文、形容詞の語法、名詞の語法、代名詞の語法、形容詞・副詞の語法、基本動詞の熟語、副詞でつかむ熟語、会話、否定、倒置・省略・代用・強調、関係詞、前置詞でつかむ熟語、動詞の語法(1)(2)(3)(4)	問題演習によって、正しい文法・語法を身に付け、正解を導き出せるようになることを目指す。 主な文法項目と熟語を網羅し、英語表現に必要な事項を理解する。	・予習復習の徹底 ・文法語法の習得 ・入試問題への対応力 ・授業への取り組み
2	時制、受動態、助動詞、仮定法、Review 1、不定詞、動名詞、分詞、Review 2、1関係詞、接続詞、Review 4、副詞の語法、比較比較、Review 5、名詞の語法、代名詞の語法、Review 6、主語と動詞の一致、否定・倒置・省略・強調、Review 7 上記項目をランダムに取り入れた演習	問題演習によって、正しい文法・語法を身に付け、正解を導き出せるようになることを目指す。 さらに、すべての文法・語法の知識を駆使してどんな問題にも対応できるよう応用力を育成する。	・予習復習の徹底 ・文法語法の習得 ・入試問題への対応力 ・授業への取り組み
3	センター試験対策総復習	問題演習によって、正しい文法・語法を身に付け、正解を導き出せるようになることを目指す。 大学入試センター試験の出題形式になれる。	・予習復習の徹底 ・文法語法の習得 ・入試問題への対応力 ・授業への取り組み

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語演習	コミュニケーション英語Ⅱ	3	A・B・C・D・E・F	2	自由選択科目	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	平松 るみ子
授業形態	講義および演習
教科書	PROMINENCE Communication English II
使用教材等	1学期 Cutting Edge 2 2019 2学期 Change the World Advanced

科目の目標・内容等

学習目標	難関大入試の長文問題に対応できる読解力を身につける。
学習における 留意点	英文の構造を正確に理解した上で、情報を読み取りまとめることができるよう努める。
予習・復習	必須。
評価方法	定期考査、その他課題等を総合して評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Chapter 1 Chapter 2 Chapter 3 Chapter 4 Chapter 5 Chapter 6 Chapter 7 Chapter 8 Chapter 9 残りのChapterについては、夏休みの課題とする	【論説文】 ①文の構造を理解する。 ②各パラグラフの趣旨を把握する。 ③文章全体の構成及び主旨を把握する。 【物語文】 ①文の構造を理解する。 ②5W1Hおよび起承転結に注視して、文章全体の展開を把握する。	1. 一つ一つの英文について、文の要素を把握して正確に意味を理解することができる。 2. key Words を読み取ったり、語句の言い換えに気づくことで、文の流れを理解して先の展開を予測することができる。また、それにより、知らない単語の意味を推測したり、多義語の意味を特定したりできる。
2	Unit 1 Unit 2 Unit 3 Unit 4 Unit 5 Unit 6 Unit 7 Unit 8 Unit 9 残りのUnitについては、冬休みの課題とする。	【論説文】 ①文の構造を理解する。 ②各パラグラフの趣旨を把握する。 ③文章全体の構成及び主旨を把握する。 【物語文】 ①文の構造を理解する。 ②5W1Hおよび起承転結に注視して、文章全体の展開を把握する。 【入試問題演習】	3. 各パラグラフの主題文、支持文等を踏まえた上で、各パラグラフの趣旨を理解することができる。 4. 各パラグラフの趣旨から英文全体の主旨を把握し、要約することができる。
3	センター試験直前指導 私大、国公立大個別入試演習	センター試験直前指導 私大、国公立大個別入試演習	

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。